



Exquisite Books by Manuel Bruker **Publisher**;
Giving Light to 20th Century Paris

マニユエル・ブルケール

20世紀パリの麗しき版画本の世界

2021 4/21 *wed* – 6/6 *sun*



Meguro
Museum of
Art, Tokyo
目黒区美術館

午前 10 時 – 午後 6 時 (入館は午後 5 時 30 分まで)

月曜休館、ただし 5 月 3 日 (月・祝) は開館し、5 月 6 日 (木) は休館

一般 700 (550) 円、大高生・65 歳以上 550 (400) 円、中学生以下無料

*障がいのある方とその付添者 1 名は無料、() 内は 20 名以上の団体料金

*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります
(他の割引との併用はできません)

主 催 : (公財) 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、展覧会の会期等が変更になる可能性があります。
ご来館時の注意事項等も含め、開館状況を当館ホームページ等でご確認のうえご来館ください。

Exquisite Books by Manuel Bruker Publisher; Giving Light to 20th Century Paris

マニユエル・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界

パリの耳鼻咽喉科の医師であり出版人でもあったマニユエル・ブルケールは、1930～1960年代にかけて、友人の画家で印刷工房主のジャン＝ガブリエル・ダラーニエスの協力のもと、美しい絵で彩られた版画本を、愛書家のために限定出版しました。今日では、ブルケールがどのような人物であったかはほとんど知られていません。しかし、彼とダラーニエスのもとに集った当時フランスで活躍していた画家たちと文学者たちの交流は、この度紹介するこの美しい版画本となり結実しました。作品は、画家ごとに特集された本の形態をとり、多くがその画家を礼賛する内容となっています。マルク・シャガールやモーリス・ユトリロなど、20世紀前半のフランス美術の錚々たる画家たちが名を連ねる一方、現在では名前のあまり知られていない画家も参加しています。ブルケールの版画本は、当時のフランスの版画の豊かさと優雅さを示しています。この度は、当館所蔵の49冊に収録された、約500点を展示します。

主な作家 / エミール・ベルナール / ピエール・ボナール / マルク・シャガール / ジャン＝ガブリエル・ダラーニエス / アンドレ・ドラン / キース・ヴァン・ドンゲン / ラウル・デュフィ / 長谷川潔 / アルベール・マルケ / モーリス・ユトリロ / アンドレ・ロート / ジャック・ヴィヨン



2



3



4



5



6



詳細マップは
こちらから



□ JR 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分 □ 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分 □ 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分 *目黒区民センター隣接 *当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。*お車で越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。

Meguro Museum of Art, Tokyo
目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36
tel.03-3714-1201
<https://www.mmat.jp>
★メルマガ会員募集中
<https://service.sugumail.com/mmat/>

1. マルク・シャガール『馬の日記』より「無題」1952年 ©ADAGP, Paris & Jaspar, Tokyo, 2021, Chagall® E4074 / 2. アンドレ・ドラン『ドラン礼賛』より「プロヴァンス風景」1958年 / 3. アルベール・マルケ『マルケの現代性』より「ベジャイア1925」1962年 / 4. ジャン＝ガブリエル・ダラーニエス『J.-G. ダラーニエス礼賛』より「裸婦」1956年 / 5. モーリス・ユトリロ『モーリス・ユトリロ礼賛』より「ムーラン・ド・ラ・ガレット」1956年 / 6. ラウル・デュフィ『ラウル・デュフィ礼賛』より「海」1931年

展覧会の関連催事は、美術館ホームページでご確認ください